

# 第43回「議員と語りかい」報告書

文教厚生常任委員会 (No.1)

開催日	令和 5年 11月 2日 14時 00分 ~ 15時 30分		
開催場所	議会棟 3階 全員協議会室		
団体名	個人参加型	参加人員	10人 (男 4人:女 6人)
出席議員	久保 史睦、山口 仁美、野村 和人、竹下 智行、川窪 幸治、阿多 己清、前川原 正人		
役割分担	班 長 (久保 史睦) 副班長 (山口 仁美) 記録係 (野村 和人)		
テーマ及び具体的な内容	<p>“障がいがあっても暮らしやすいまち “</p> <p>(3グループに分かれて、それぞれディスカッション形式でご意見等をお聴きした。グループごとに概要を発表し全体共有を図った。)</p>		

意見交換での主な意見等	◆は参加者からの主な話題
	<p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆バス移動の場合も、バス停までの道のりで側溝の段差や、ガードレールがないところがある。</li> <li>◆ハイブリッド車などで自動車の音が聞こえないため、駐車場等でもひかれそうになった事がある。</li> <li>◆音声認識信号が少ない。また夜間は鳴らない設定のようだ。障がい者は夜間歩くなという事なのか。バイク等でも騒音があつたりするのと思う。</li> <li>◆ストマ対応のトイレが少ないようだ。大規模なホテル等是对应している所が多いようだが、市街地のホテルは対応していない。またストマ対応トイレのホテルや飲食店のリストアップを始めたが経費もかかり進められていない状況だ。</li> <li>◆バリアフリーといっても、スロープだけのバリアフリーでなくもう一歩先のバリアフリーになって欲しい。</li> <li>◆災害時の避難についても障がい者目線を大事にしてほしい。</li> <li>◆日常でも、子どもたちのほうが気遣う声掛けをしてくれる。大人のほうが心遣いの言葉が少なく感じる。</li> </ul>

◆は参加者からの主な話題

Bグループ

- ◆日常の生活の中で、聴覚障がい者目線が少なく感じる。市役所等の電光掲示板等はあるがたい。もっと増やしてほしい。
- ◆災害時の通知等で、回転灯など視覚的に知らせるものがあるがたい。自治会等の有線放送があるが、文字放送等での情報が欲しい。  
県の障がい者センター・聴覚障がいの聾学校等の設備を参考にして計画段階から考える必要がある。電話リレーサービスでの手話放送を利用している事例もある。

Cグループ

- ◆歩道と信号の課題で、静かな車が多くなったので危険度が増している。盲導犬も信号の色はわからないので、指示が出しづらい。信号機の音が非常に大事で、他自治体では青になった事を伝えてくれる事例もある。赤外線センサー等での音声付きの信号が増えて欲しい。
- ◆盲導犬を連れて通るときに盲導犬は2人分の幅がないと歩けない、歩道等への草木のはみだしにより通る事ができない時がある。
- ◆タクシーの人手不足・ガイドペルパー不足により、自由にお願ひする事が難しい現状である。
- ◆ホテルや飲食店で盲導犬を連れての入店を拒否される場合もある。ユニバーサルデザインの環境をさらに整えて欲しい。
- ◆雨天時等でも、障がいがある人でも年配の方でも使えるような少し広めの健康づくりの広場が欲しい。

全体での質疑応答等

- ◆車椅子で飲食できるお店の紹介をしている。他の障がいの方々の声をお店等にもお伝えしたいので、ご意見を頂きたい。
- ◆聴覚障がい者の場合、お店の方に気づいてもらえない場合が多い。店員の方がマスクをされている場合は、何か話しかけられても気づかず、無視している状況になってしまう。もしかしたら、聞こえないのかな?と思って頂きたい。手話だけでなくちょっとしたコミュニケーションは取れるので手招きや合図が欲しい。
- ◆店内で手話で話していると店員も気づいてもらえるが、それ以外の場合は気づいてもらえない。マスクがあるとわかりにくいので、気づいた時にはマスクを外して話してほしい。

意見交換での主な意見等

◆は参加者からの主な話題

◆視覚障がい者の場合、盲導犬と一緒にお店に入る場合、パン屋さんなどのお店のように店内に飲食物が並んでいる場合には、入りにくい。盲導犬はかぶりついたりはしないが、心配されたり、毛が落ちてしまう事を懸念している。

◆盲導犬との入店に際し、盲導犬に洋服を着せたり足を拭いたり気遣いをしている。お店によっては、盲導犬にとって良い場所はどこですか？と聞いて頂いたりするお店もある。人間一人分のスペースさえあれば大丈夫である。盲導犬シールについても知って欲しい。

◇歩道等の点字ブロックの整備状況について教えて頂きたい。

◆市街地では整備されているが、他は少ないと思う。剥がれている所があったりもする。

◆大学生ぐらいの方が点字ブロックの上で喋っていた時に、小学生が注意していた所を見た時もある。子どもたちにありがとうと伝えた。嬉しかった。

◆盲導犬の場合、交差点で止まった時の確認で、点字ブロックの止まれ第2、第3の安心・安全のための確認で使う。

◆材質がスルツとしたのと、ちょっとガサガサだったのがある。車椅子で乗ると滑ってしまう場合がある。

◆いざ夜間に避難する場合のために、私たち自身も定期的に街を歩いて、どこが安全でどの道が避難のときにいいのかを見て回るのも大事だと思う。

◆ストマ対応のトイレについて現状を教えて欲しい。

◆市役所のトイレは大丈夫であるが、単に多目的トイレでも使いづらいトイレもある。

◇ご自身の身の危険を感じた事例があれば教えて頂きたい。

◆横断歩道でのことで、青の間で渡りきれない場合がある。

◆杖等が詰まって焦った時がある。

◆見えない段差等で、車椅子の前輪がはまって、何度も前に投げ出された時がある。

意見交換での主な意見等

◆は参加者からの主な話題

◇役所等での手続き等で困ったことなどを教えて頂きたい。

◆遠方でも、手話通訳のおられる病院に行くようにする場合がある。安心して受診できる。

◆手話のできる方が総合支所にいた時は、行っていたが今は本庁にしか行かない。

◆一度嫌な思いをした職員さんが窓口だった時には、苦手なので明日にしようと思った時もある。

◆職員の方の笑顔や心遣いの声掛けで安心する。

◇子どもの時から正しく障がいを知ることも大事で、また障がいについては双方向のコミュニケーションなどが重要になってくるのではないかと思う。

意見交換での主な意見等